

千早小吹台小学校の教育を充実発展させるためのアンケートについて

学校運営への提言

(防災安全等の取り組みについても)

提言 1 子供が登校拒否になったとき、校長先生を始め、担任の先生や諸先生方に親身になって対応して頂き、お陰様で今では、子供も楽しく学校に通っております。上の子も入学以来楽しく学校に通っております。とても温かい学校だと思えます。

提言 1 について

高い評価をいただき、嬉しく思っております。我々職員一同、「やさしさと笑顔いっぱい为学校」のスローガンを掲げ、日々取り組んでおります。ただ、児童は、個々に資質や生育環境が異なり、本人の状況や教育課題もそれぞれちがっています。教師と保護者が共に考え、本人の思いや悩みに寄り添っていくことが大切だと考えます。小規模校には、全職員が一人ひとりの状況や課題を共有し、関わるができるという「強み」があります。課題はたくさんありますが、連携して取り組みたいと思えます。子供の健全育成のため、ご協力のほど、これからも宜しくお願い致します。

提言 2 1月17日の土曜参観、防災のお話ということで、震災を知らない子供たちにとっては、とってもいい機会だったと思えます。これは、とても大切な時間でしたが、土曜参観が、今後できる機会があれば、普通の授業参観をしていただければ、うれしいかなと、主人が話していました。平日の参観は、みれる機会がないので、父親が行ける機会があればいいかなと思えます。

提言 2 について

防災・安全学習の参観と避難訓練へのご参加ありがとうございました。今回の土曜参観は、「防災・安全」をテーマに、学校と保護者・地域・関係諸機関との連携を推進することを主たる目的としました。土曜参観においても、「普通の授業」を実施して欲しいとのご要望については、来年度の学校行事(土・日曜参観を含め)の計画作成の際に、検討させていただきます。

提言 3 日頃よく子供らの事を考えて、取り組んでいただいていると感謝しています。防災・安全では、年に数回、地区での訓練が必要だと思えます。なかなか難しいとは思いますが、これからは必要になってくると思うので、学校行事として、将来やっていただけたらと思えます。

提言 3 について

学校としましても、防災避難訓練など、健康安全的な取り組みを今後も進めていく必要があると考えております。ご指摘の通り、この取り組みは、保護者・地域の皆様はもとより、各関係諸機関との連携・協力なしには進みません。また、子供の命を守る取り組みとして、防災・安全教育と避難訓練の

反復は欠かせぬものでもあります。保護者・地域の皆様にも、積極的にご参加いただき、地域の防災拠点としての千早小吹台小学校を目指し、幅広く、取り組んでいきたいと考えております。

提言4 先日の土曜参観の際の防災訓練の事ですが、訓練だからと、体育館に入るのに、スリッパ等脱ぐのはどうかと思う。実際、脱いだりすると危険だと思うので、その辺もきちんと訓練されてはどうか。また、引き渡しの際も、名前を書き、番号を配付していたが、きちんと人数、名前を確認してないのはどうかと思った。バス通学をしていたら、もし災害が起きた時の事も考えて訓練・連絡等もいるのではないかと思いました。バスでの送りが出来ない、保護者の迎えが出来ない等の事も考えられると思うので。

提言4について

防災避難訓練の反省として、貴重なご意見をありがとうございます。

先ず、前半の、体育館でのスリッパ（上履き）の使用につきましては、今回は、体育館・校舎にガラス破損等がなく安全で、平常通り使用可能であり、児童の避難行動と平行して地域住民の方が避難して来られたとの想定で行いました。そこで、体育館を避難所として使用する場合、様々な人々が、直接、床に寝ることもありますので、フロアでは靴を脱ぐようにしました。ただ、スリッパの使用については、今後検討していく必要があると考えております。

次に、後半の、引き渡し訓練については、保護者以外の引き取り者（祖父母や近所の方など）の確認をどうするのかなど、電話やメールでの連絡ができない状況の中では課題は多く、ご指摘にもあるように、引き取りのできない児童について、学校待機をどのようにするか等検討していきたいと思っております。

提言5 子どもが病気で休んだ時に、子どもの様子を聞くために、電話をして下さる先生と、全く電話をしてもらえない先生といるのですが、我が家には、3人学校に通っていて、3人のうち1人の子だけ、全く電話がないので、いつもさみしい思いをしているので、同じようにするか？しないか？統一して欲しい。（年賀状もひとりだけ4・5日こなかったのも、さみしそうでした。）

提言5について

病欠の際の家庭連絡や訪問の対応が異なっていたようで、子供たちには、さびしい思いをさせ申し訳なく思います。今後は、子供の気持ちを大切に考え、できるだけ統一した対応が出来るように、話し合いたいと思っております。

提言6 英語の取り組みについてですが、低学年から英語でのあいさつをしているので、ヒアリングはできています。が、中学校に進学し、文法等書くことが入ると、とたんに英語嫌いになってしまいます。英語のあいさつ等だけでなく、単語というかあいさつ文を書くことも教えて頂けたらと思うのですが、どうでしょうか？

提言6について

小学校での英語活動の目的は、その活動を通して、言語や文化についての

理解を進め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育て、外国語（英語）の音声や基本的な表現に親しませることにあります。そこで、本校では体験的に「聞くこと」「話すこと」に重点を置いた指導を行い、「楽しく、コミュニケーション力の育成を図る」ことを目的としてきました。小学生段階でも、音声言語面でのスキルアップはある程度可能であり、本校の英語教育に対する評価も多方面からいただいています。

ただ、実生活から離れた多くの表現を覚えたり、細かな文章構造に関する抽象的な概念を理解したりすることは、小学生には難しく、学習に対する児童の興味関心を低下させる恐れがあると考えます。

さて、ご指摘の点ですが、主として中学校英語との連携の問題かと思えます。本校では、3年生以上の英語活動に中学の英語教員も入り、小中の段差を埋める指導に取り組んでおります。また、小学校での音声を中心とした楽しい英語学習を大切にしながらも、高学年においては、中学校から始まる「読むこと」や「書くこと」について、無理のない範囲で、慣れさせていく必要があるとも考えており、アルファベットを学び、簡単な単語やあいさつ文を読めるようにするなど、中学校との教育課程の一層の連携について、共に進めていきたいと思えます。

提言7 1月の土曜参観は、校区内地域の方々のご参加・協力もいただけた点が良かったと思えます。次年度も予定されるとの事、体育館のマット敷きや椅子準備・片付けなど、保護者が協力できる作業もあるかと感じましたので、案内いただければと思えます。

提言7について

防災の取り組みについて、ご支援いただけるとのお言葉を頂き、誠にありがとうございます。学校が、保護者・地域の皆様と共に、防災・安全を考え、子供の命を守るため、想定されている災害に備えることは極めて重要だと考えております。つきましては、学校の様子や学校の取り組みを知っていただくためにも、より多くの保護者・地域の皆様に、お声かけをさせていただき、ご理解ご協力を頂くことが大切だと思います。大変お忙しいとは存じますが、是非、よろしくお願い致します。

提言8 今回、初めて防災訓練に参加させていただきました。防災の知識が得られ、先生の適切で迅速な指示で、子供たちもしっかり訓練ができていたと思えます。訓練した時は気持ちもひきしまっていますが、徐々にうすれ、忘れてしまうこともたくさんあると思えます。定期的に訓練を繰り返すことで、実際に、現場に遭遇した時には落ち着いた対応ができると思えます。定期的に防災訓練、よろしくお願ひします。ありがとうございました。

提言8について

今回の防災・安全学習と避難訓練の取り組みについて、高い評価をいただき、ありがとうございます。繰り返し、防災・安全について学習し、保護者・地域と共に訓練を積み上げることで、児童はもちろん、我々大人の意識が変

わり、危機回避の確率も高まるのだと思います。今後も、よろしくお願い致します。

提言 9 保護者も参加しての防災授業、たいへん良かったです。講師の方のお話も工夫されていて、子供たちも興味深く聞けたと思います。いつ起こるか分からない災害に対して、あらためて、親子で考えることができました。家に帰ってからも、子供たちと、「もし今災害が起こったら・・・？」と話し合いました。また、このような取り組みがあれば参加したいと思います。

提言 9 について

防災・安全について、お家で話し合っていたいただいたとの事、本当にありがとうございました。子供たちの命を守るためには、学校の取り組みだけでは不十分だと思います。子供たちが学校にいる時間は約2割、残りの8割は家庭や地域にいる時間です。ただ、この最も身近で大切な、家庭での話し合いや取り組みが、なかなか進まないのが現実です。各ご家庭でも、防災・安全について、真剣に話し合えるきっかけになればと思います。

提言 10 教室に設置してあるストーブの上に、水を張った鍋が置いてあるが、危険だと思う。普段は気をつけることができても、地震が起これば、熱湯がこぼれることも考えられる。風邪やインフルエンザの感染を防ぐ加湿のためだと思うが、別の方法を検討してほしい。避難訓練の際に、2年生は座布団で頭を保護していたが、できれば両手は空けておいた方が良いのではないかと思う。落下物の危険があまりなければ、帽子でも良いと思うが、それでは危険だということであれば、防災頭巾（椅子にかけておけるもの）にしてはどうかと思う。

提言 10 について

子供たちの安全について、ご提言をいただきありがとうございます。

前半の教室のストーブについて、本校では基本的に、天板に熱を持たないタイプのストーブを設置していますので、熱湯がかかることはありませんが、ストーブは移動可能なもので、地震の際の安全対策については、まだまだ、十分とはいえません。今後は、ストーブの固定や防護網の購入設置などと共に、安全な暖房機器（エアコン等）の導入についても村教育委員会に要望するなどの対処をしたいと思います。また、インフル対策としては、加湿のできる空気清浄機を設置していただいておりますので、そちらを、今後もしっかり活用していきたいと思います。

後半の防災頭巾の準備については、火災や地震の際に、頭部保護に有効だと考えておりますが、導入については、費用負担の問題もあり、関係機関にも相談の上、今後検討していきたいと思います。

提言 11 アンケートについてはいつも思うことですが、質問内容が漠然としていたり、多面的であるのに一面的な選択肢であったりと、答えにくい内容が多いように思います。「わからない」や「自由解答」の欄もあれば、もう少し答

えやすいのではないのでしょうか？

提言 1 1 について

学校診断アンケートについて、ご提言を頂き、ありがとうございます。今年度は、これまでの通り、評価結果の経年比較を重視し、項目を大きく見直しませんでした。ご指摘いただきました点につきましては、来年度は、答えやすくするために、質問内容の具体化や回答方法も含め、修正を検討したいと思います。

提言 1 2

地震の防災訓練、とてもよい経験になりました。はじめての事で、全く、どのような事が起こるか見当が付きませんでした。参加してみて、本当にこのような災害が起こったらと考えると、訓練のように冷静には動けないと、いろいろ考えさせられました。できる限り参加し、積み重ねていきたいと思えます。

提言 1 2 について

学校としましても、ご提言にもあります通り、来たる災害を想定して、地道に訓練を積み重ねることが大切であると考えております。つきましては、来年以降も継続して、防災・安全学習と防災避難訓練を実施したいと思えます。ご支援、ご協力のほどよろしく申し上げます。

学校支援活動について

提言 1

放課後勉強室は、すごくありがたいです。早く帰ってくる水曜日なんかもやって欲しいです。

提言 1 について

放課後勉強室は、現在、指導員の方一人で、教室を切り回していただいています。指導員（支援員）の増員など、学校支援活動を支えていただけの方を募集すると共に、教育委員会にも「放課後勉強室」の活動を一層ご理解いただき、教室の運営に係る財政支援や指導員（支援員）の確保など、ご助力いただけるようお願いしていきたいと思えます。

提言 2

登校時の安全見守りボランティアの方には、本当にお世話になっております。ありがとうございます。

提言 2 について

雨の日も風の日も、子供の安全のために、登校時や下校時に見守り活動をして下さっている皆様に、心よりお礼申し上げます。

提言 3

色々なボランティアの方に協力いただいているようですが、私のように、仕事をしていると、なかなか参加できず、心苦しい気持ちもあります。せめて、どの方が、どんなことをしてくれているのか、何らかの形でわかれば、お顔を見た時に、「いつもありがとうございます」と声をかけられるのですが、

図書ボランティア・見守り隊、どなたがやっているか解りません。何かのかたちで教えてもらえたらいいなといつも思っています。

提言 3 について

支援活動に参加いただいている皆様のお名前の紹介等につきましては、個人情報保護の問題もあり、年度当初の学校支援地域本部の総会等でご了承いただく必要があります。なお、学校支援ボランティアの活動につきましては、学校のホームページなども活用して、できるだけ詳しく活動の様子をご紹介できるようにしていきたいと考えております。

提言 4 このまま、引き続き、続けていただけたらと思います。

提言 4 について

現在、実施していただいている様々な学校支援活動は、子供たちの学校生活にとって、とても重要な活動になっています。ただ、行政からの財政的支援や継続的な人材確保の見通しは大変厳しいと言わざるを得ません。本校では、地域の子供たちの健全育成のため、学校支援ボランティア活動にご参加いただける方を募集しています。できる範囲で結構ですので、ご参加いただけるとありがたいです。

提言 5 子供の安全見守り活動・・・いつもありがたいと思っています。

花ボラ活動・・・きれいですね。

図書ボラ活動・・・活動を実際に見た事がないので？

放課後勉強室・・・喜んで行っているの、これからも続けてほしいです。

引率支援活動・・・これは、どんなのでしょうか？

提言 5 について

引率支援活動とは、ボランティアで社会見学やプール監視などに参加いただき、児童の安全確保のため、引率教員の補助をしていただく活動です。特に、班活動でのオリエンテーリングや見学、登山やハイキングなどは、大人の目が多いほど、児童の安全度は高まりますし、活動の幅も広がります。今年度も、社会見学や登山でご支援いただいています。(ホームページにも紹介しています(10/10 日誌)ので、ご覧ください。お忙しいとは思いますが、時間があれば、是非お願いします。

提言 6 登下校時の見守り活動、いつも感謝しております。村外へ行っても、すれ違う方に挨拶するのは、毎日のお声掛けの賜物だと思います。(同伴している大人の私がハッとさせられます。)

提言 6 について

本校の見守り活動については、登下校の際の見守りだけでなく、子供たちに、積極的にお声かけいただき、あいさつの大切さも教えていただいています。家庭と学校と地域で取り組む教育活動として、「あいさつ運動」が注目されていますが、学校も頑張りますので、今後も、家庭・地域ぐるみで子供たちに関わっていただければと思います。

提言7 学校での放課後勉強室活動や夏休みなど勉強活動（分からない所を教え
てもらおう）などを実施していただきたい。

提言7について

まず、「放課後勉強室」の活動とは、学校教育として、担当の教師が補習
の必要な児童に行う、いわゆる「居残り勉強」とはちがうものです

現在、本校で実施されている「放課後勉強室」の活動は、木曜日に1年
生、金曜日に1～2年生を対象に、授業のある上の学年の下校時間までを
目途にしています。

本来、「放課後勉強室」の活動とは、平日は、高学年も参加できる放課後
の時間帯、更に発展すれば、土曜日や長期休業中にも、地域事業として、
選任された指導員（支援員）やボランティアが行う事業です。学校として
は、教育委員会に事業の実施をお願いすると共に、指導者（支援ボランテ
ィア）を募集し、放課後勉強室の活動が続くように努力したいと思いを
ます。